

お子さんの耳の聞こえをチェックしましょう

～「ささやき声検査」のすすめ～



～ 自宅で耳の聞こえの検査「ささやき声検査」と
「耳の聞こえに関するアンケート」
をおこないましょう ～

“音には反応している”、“名前を呼ぶと振り向くから大丈夫”

・・・とっていませんか？

お子さんの中には、“耳で聞き取ることができない音がある”ということが原因で、言葉の理解が遅れたり、発音が不明瞭になることがあります。発見が遅れてしまうと言葉の遅れが改善されにくく、学習面への影響が出ると言われています。

大きな音だけでなく、小さな音も聞こえているかどうかを確認するため、おうちで「ささやき声検査」を行ってください。

実施結果は、2歳6か月児健診で提出していただきます。

「ささやき声検査」と「耳の聞こえに関するアンケート」をおこなった結果、心配なことがあれば、こども家庭センター母子保健係まで気軽にご相談ください。

※ 出産した病院などで新生児聴力検査を受けて“異常なし”の結果であっても、進行型難聴の可能性もあるため、必ず実施してください。

ささやき声検査の方法

(保護者が行う絵シートによるささやき声検査)

検査の方法

- 1 絵をお子さんの方向に向けて置き、1mくらい離れ、向かい合って座ります。
- 2 「この絵の名前を言うから、お母(父)さんが言った絵を指さしてね。」とお子さんに言って、会話する時の声で、絵シート上の表示した絵の名前を言い、お子さんが6個の絵をすべて正しく指せるか確認します。
- 3 「今度は小さな声で絵の名前を言うから、よく聞いて、指さしてね。」とお子さんに言って、**口元を手などで隠し、6個の絵の名前を、ささやき声で1回ずつ言い、下の表に正しければ○、正しくなければ×を記入します。**

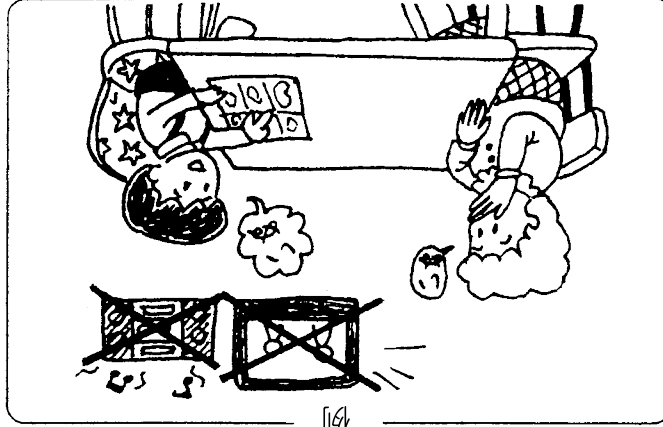
※ 検査の注意事項

絵の名前を言うのは1回だけです。聞き返されても、繰り返し言わないでください。また、ささやき声が大きくならないように注意してください。

※ “ささやき声” の出し方

ささやき声は、息を出すだけの感じて、ないしよ話のようにささやきます。普通の声は、のど(のどぼとけ)に手をあてたとき、指に振動が感じられますが、ささやき声は、のど(のどぼとけ)に手をあてたとき、指に振動が感じられません。この状態が“ささやき声”です。

い	ぬ	<	つ	かさ	そう	ね	こ	い	す
---	---	---	---	----	----	---	---	---	---



例

※6つの絵のうち、2つ以上

か×の場合は、難聴の疑

いもあります。

早めの受診をおすすめして

いますので、乳幼児健診

時にご相談ください<か

こども家庭センター母子保

健係までご連絡ください。

絵シート

